

ECN120 経営学概論

2年 1,2クォーター

担当教員 中村 友哉

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 木曜日・3時限

授業概要

地域課題の探求及びその解決のためには、地域の企業等の経営活動全般についての調査・研究が必要となる。本授業ではこの経営学関連諸科目の先駆けとして、その基礎的な概念や考え方を講義するものである。本授業では、経営学諸分野について、その基礎知識を幅広く講義し、今後開講される経営学関連科目の受講に必要な基礎的な知識を得ることを目的とする。

経営学は大きく、人の問題、組織の問題、戦略の問題から構成される。本科目では、地域とグローバルを志向した学部における経営学概論であることを背景に、地域活性化の基礎単位である企業の人、組織、戦略の基本理論について学習する。基本的な経営学理論とともに、近年の具体的な経営現象についても解説し、経営学の知識を用いて受講生が自身で地域課題の探求や解決を進める力を養う授業を行う。

到達目標

- (1) 経営学における基礎的な概念や考え方をを用いて、現在の地域企業が直面している課題を論理的に考え、議論する力を習得する。
- (2) 国際的な視野をもち、地域の国際化などを進めていくことのできるグローバルな対応力を身につける。
- (3) 経営学的な視点から自治体の産業政策等へ提言を行うための知識を身につける。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

(参考資料)

柴田悟一・中橋國蔵編著「経営管理の理論と実際 新版」東京経済情報出版、2003年

授業の方法

基本は講義形式であるが、インタラクティブ性を重視する。

成績評価

レスポンスペーパー (RP) :

授業のテーマに関する課題を、学生はレスポンスペーパーに記入し、その内容を評価する。

成績

50% レスポンスペーパー (RP)

50% レポート

授業スケジュール

第1回：経営学とは何か

経営学とは何か。どのような学問体系なのか。組織を対象とする経営学とは、をテーマにガイダンスを受ける。

第2回：日本企業について

経営学の分析対象は企業であり、企業とは組織である。ここでは日本企業を事例にして、企業とは何か、組織とは何かを理解する。またその歴史的な変化についても学ぶ。

第3回：イノベーションとグローバル化の時代

地域経済を念頭に置いた経営学を学ぶ上では、イノベーションによる地域の活性化やグローバルな視点が不可欠である。しかし、イノベーションやグローバル化といった言葉は何を指すのか。ますます重要性を増すイノベーションやグローバル化とは何かを理解する。

第4回：マイクロ組織論1 古典的管理論から人間関係論へ

経営学の全体像を把握するため、以下では大きく3つの分野の体系を学ぶ。マイクロ組織論では人間の問題として経営学理論の初期から議論されてきた管理論の流れを、古典的管理論から人間関係論への変遷をたどり把握する。

第5回：マイクロ組織論2 モチベーション理論

人を動かすためには、人がどのようなモチベーションを持ち、またそれがどう変化するのかを知る必要がある。人間関係論を経て生まれたモチベーション理論について学ぶ。

第6回：マイクロ組織論3 リーダーシップ論

人を動かすためにはまた、リーダーの影響が甚大である。リーダーシップとは何かを中心に、その機能や組織への影響について学ぶ。

第7回：マクロ組織論1 組織構造

組織は歴史的に大きく形を変えてきた。マクロ組織論では組織の問題をとりあげる。職能制組織から事業部制組織への展開、分権化の更なる進展とともに生み出されたマトリクス組織など、どのような必要性和役割から組織の構造が変化したのかを学ぶ。

第8回：マクロ組織論2 組織プロセス

効果的な経営のためには、適切な組織構造とともに、組織内におけるプロセスの管理が必要となる。組織における問題の解決はどのように進むのかについて学ぶ。

第9回：マクロ組織論3 イノベーションの組織、グローバル組織

組織の構造やプロセスの基本部分を押さえたのち、イノベーションやグローバル化といった状況下における組織がどのような形をとるのかを学ぶ。

第10回：経営戦略論1 戦略計画、戦略創発

最後に、戦略の問題を議論する。経営戦略には様々な考え方があり、ここでは計画としての戦略という考え方と、それに対して戦略は創発するものであるとする考え方を学ぶ。

第11回：経営戦略論2 資源ベース戦略

戦略計画や戦略創発の後に誕生した資源ベースの戦略について学ぶ。企業の経営資源を競争優位の源泉と捉えることで何を明らかにできるのか、また企業の分析にどのように使うことができるのかを理解する。

第12回：経営戦略論3 ポジショニング戦略

1980年代以降、世界的に大きな影響力をもったポジショニング戦略の考え方を学ぶ。SCP理論を通じて企業を分析するための基本的な概念やその使用方法を理解する。また、身近な企業を例にとることでその分析枠組みを理解する。

第13回：経営戦略論4 イノベーションの戦略、グローバル企業の戦略

経営戦略論の基本部分を押さえたのち、イノベーションやグローバル化といった状況下における戦略のあり方を学ぶ。

第14回：日本企業におけるイノベーションとグローバル化

マイクロ組織論、マクロ組織論、経営戦略論という経営学の基礎部分の学習成果を背景に、日本企業のイノベーションやグローバル化について考える。

第15回：地域の課題と経営学

一連の講義で学んだ経営学的視点から、改めて地域の課題を取り上げ考察する。イノベーションやグローバル化が地域経済にどのような影響を与えているのか。経営学の理論を用いて何が明らかになるのかを議論する。

事前・事後学習

事前学習には、指定する参考資料を読み授業テーマに沿った予習を行う。事後学習には、講義内容を踏まえ、指定する参考資料を読み考察を行う。その際、講義での不明点や気づき、自身の考えをきちんとまとめておくようにすること。